

熊本県スポーツ優秀賞に津田ひかる選手! 2月17日 熊本県庁

平成23年に開催された全国、国際大会で優勝もしくは入賞した選手を顕彰する「県スポーツ優秀賞」に、県テコンドー協会からは津田ひかる選手が昨年に続く2回目の嬉しい受賞となった。受賞者は19競技、66名が受賞、各選手の紹介と成績が報告された後、蒲島県知事からの祝辞が述べられた。

26日には東京で全日本選手権が開催されるが、津田選手には三連覇を目指して頑張ってほしい。受賞おめでとう!



津田ひかる選手

熊本学園大学、岡本恵也学長へ表敬訪問 3月12日 県民運動公園体育館



表敬訪問の様子

昨年の全日本学生選手権で入賞した、熊本学園大テコンドー部の中山北斗選手、津田ひかる選手、本田千尋選手、今年2月の全日本選手権74kg級で優勝した、本年4月に学園大入学予定の阪上弘一選手が、この程、樋口悦夫県協会会長、学園大テコンドー部、樋口清輝、監督と共に岡本恵也学長を表敬訪問した。

創部から3年と短期間で、全日本学生選手権、全日本選手権等で上位入賞する選手を輩出している同大学テコンドー部だが、これまでの大会結果報告やテコンドー部への協力依頼等について約30分にわたり面談、岡本学長も選手への激励、同部への理解をより深めた様子で、終始なごやかな表敬となった。

熊本市テコンドー協会、ブンセ講習会を開催 3月25日 熊本学園大学

熊本市テコンドー協会(8道場、3大学)は、この程、傘下の道場、大学及びオープン参加の25名が参加してのブンセ講習会を開いた。

指導にあたった樋口師範は、「キヨルギとブンセは車の両輪、どちらも重要で、特に最初に立ち方や、突き、受け、蹴り技を正確に見える事が基本。特にブンセは繰り返し稽古することが大切」と話した後、約2時間に亘り実技講習を行った。

熊本市テコンドー協会では熊本市選手権大会、技術講習会等の事業を毎年実施し、会員の技術向上と交流に力を入れている。



講習会の様子

春季昇級審査91名が受験! 4月1日 県民運動公園体育館

平成24年度の協会行事の最初となる昇級審査会は、県協会各支部、大学等から91名が参加して行われた。小学生から社会人までが、基本、移動、ブンセ、キヨルギと合格目指し真剣に取り組んでいた。

審査終了後は合同練習会が行われた。

昇級審査会の様子

新理事に高細工洋合志支部長、園田裕文字土支部長を選出 平成24年度前期理事会

平成24年度前期理事会は、昨年11月にオープンした県協会本部道場で理事11名が出席して行われた。

樋口会長より「本日、園田幸二副会長の母親の葬儀が行われ、私と西田事務局長の2名で葬儀に参列した。御冥福を祈りたい」との報告の後に議案審議が行われ、事業報告、収支決算報告、本年度事業計画等が承認された。

また、役員改選に伴い常任理事として植田隼人川尻支部長が、新任理事として高細工洋合志支部長、園田裕文字土支部長が新たに選出された。



前期理事会の様子

テコンドーくまもと Vol.37

TAEKWONDO KUMAMOTO 2012.1 ▶ 2012.4



タイガーカップ 熊本道手団

全日本選手権、阪上弘一選手(宇土)初優勝! 牧野、津田、本田選手は3位入賞

2月26日 東京駒沢オリンピック公園体育館

日本一を決定する全日本選手権大会は、26日、東京駒沢オリンピック公園内体育館で各地区予選会を勝ち抜いた選手が集い、盛大に開催された。

県協会からは、男子、-54kg級に津田輝史朗選手、-63kg級に中山北斗選手、-74kg級に阪上弘一選手(宇土)87kg超級に牧野信一選手(玉名)が、女子、-46kg級に津田ひかる選手(学園大)、-57kg級に本田千尋選手(学園大)の6名が出場、阪上弘一選手が見事初優勝を飾った。決勝戦は、五輪強化指定選手の山下選手大戦と延長戦、サンドレスで勝ち、初の全日本優勝を勝ち取った。

三連覇が期待された津田ひかる選手は、残念ながら準決勝で兵庫の山田選手に敗れ、惜しくも三連覇を逃した。牧野信一選手は、今年は階級を上げて87kg超級で臨み、3位に入賞。本田千尋選手は、昨年12月の全日本学生選手権の優勝で波乗り、全日本選手権でも初の3位入賞を果たす結果となった。

入賞が期待された中山北斗選手は惜しくも予選で敗退。兄弟で臨んだ初出場の津田輝史朗選手も、残念ながら予選で敗退した。阪上選手は今年、学園大に進むことが決定しており、ユニバ、世界学生選手権等、国際大会への出場も夢でなくなった。初優勝おめでとう!



入賞した4選手

タイガーカップ最優秀選手賞に富田選手(阿蘇) 県勢27個のメダルを獲得

1月29日 佐賀県基山町総合体育館



最優秀選手賞 富田大翔選手



今年最初の大会となった第10回タイガーカップマスターズオープン大会は、昨年11月、タイバンコクで行われたロンドン五輪アジア地区最終予選会で、見事女子-49kg級の出場枠を獲得した、濱田真由選手の地元、佐賀県で219名が参加し盛大に開催された。開会式では、五輪出場内定の濱田選手への表彰等があり、大会に華を添えた。

県協会は、阿蘇、不知火、熊大、崇城大が参加、小学3年男子で優勝した富田大翔選手(阿蘇)が最優秀選手となる等、8名が優勝、準優勝5名、3位入賞9名とオリンピック開催年の年明けに相応しく嬉しい好成績の結果となった。また、ブンセ競技では、小学1・2年生の部で佐藤太一選手(阿蘇)が見事優勝を飾った。

大会ハイライト

初の団体戦は阿蘇がトリプルV! 第12回城北地区大会 3月4日 大津町大津小学校体育館

第12回城北地区大会は、城北地区的支部及びオープン参加の県内支部道場、高校、大学等から90名が参加して開催された。今回の大会では、ブンセ、キヨルギの種目に加え団体戦も実施された。開会式では2月に行われた全日本選手権で入賞した選手4名に協会から花束が贈られた。

初の試みとなった団体戦は、3人1チームとなり一人1分で戦い5分間にトータルでポイント数が多いチームが勝利する独自のルールで行われ、一般女子では全日本入賞の津田、本田選手、全日本ジュニア入賞の西村真利愛選手の阿蘇女子チームが優勝。男子は小学生の部阿蘇Eチームが、一般の部で阿蘇チームがそれぞれ優勝し、トリプル優勝をかぎつた。

最優秀選手には、一般女子の部で優勝した阿蘇笑奈選手(川尻)が選ばれた。



団体ブンセ 阿蘇支部



ジュニア団体戦



熊大主導 土師選手



団体戦 (全日本出場の津田輝史選手)



米田優選手 (青)

廣田兄弟ダブルV! 母親も準V、県勢6人優勝 全員メダル獲得の大活躍! 4月1日 長崎市立鳴見台小学校体育館

毎年恒例のONEオープン大会、県協会からは小学生から大学生までの11名が参加し、全員入賞の大活躍となった。

特に、ファミリーで出場した廣田翔栄、龍信の兄弟(武道館)は、嬉しい兄弟ダブル優勝を飾り、母親の仁美さん(武道館)も決勝に進み、大分の長野聖子選手に敗れ準優勝となつたが、ファミリーで嬉しい入賞を果たした。

西田 尚選手(不知火)準優勝! 普及会オープン 4月22日 福岡市立早良体育館

毎年恒例のNPO法人普及会のオープン大会、今年は「JTSSテコンドーチャンピオンシップトーナメント2012」と大会名を新たにして、地元福岡、長崎、宮崎、熊本から81名が参加して開催された。

熊本からは、不知火支部の西田尚選手が出場。小学5・6年、中学1年女子合同級で準優秀となつた。準決勝は、福岡の早田選手に6-4で勝利したが、決勝は同じく福岡の滝川選手に惜しくも敗れた。今回西田尚選手1名のみの寂しい出場となつたが、昨年に続く準優勝にエールを贈りたい。



西田亮選手(赤)決勝戦



2位入賞の西田 尚選手

HIGHLIGHT

※大会結果の詳細はホームページに掲載

協会ニュース&トピックス

NEWS&TOPICS

指宿菜の花マラソン全員完走! 1月8日 鹿児島県指宿市

金村康正、熊本大学監督率いる熊本大学テコンドー部員13名、熊本学園大テコンドー部から1名が参加した第31回菜の花マラソン大会、全員がフルマラソン42.195kmを完走した。テコンドー衣をまとい、沿道の声援に答えるながら天候にも恵まれ、また、韓国から参加したランナーは「テコンドーファイテン」と本場からの熱いエールを送り、国際交流にも一役かたったマラソン参加「道衣を着て参加し、テコンドーのPRも出来て良かった」と金村監督は語った。

前回に続き2回目となるマラソン参加、大学生にとっては、青春の良き思い出となるに違いない。お疲れ様でした。

熊日スポーツ大賞・津田、阪上、廣田の3名が受賞! 1月14日 熊本日日新聞社

今年で42回となる「熊日スポーツ大賞」県協会からは、津田ひかる選手、阪上弘一選手、廣田翔栄選手の3名が奨励賞を受賞した。県スポーツの振興を目的として、熊本日日新聞社が昭和45年から行っている歴史ある賞、大賞1名、特別賞1名、奨励賞8団体、奨励賞個人19名、指導者賞1名が栄えある賞を受賞した。県テコンドー協会からは、津田ひかる選手(全日本選手権女子-46kg級2連覇)阪上弘一選手(全日本ジュニア高校生ギル級2連覇)廣田翔栄選手(全日本ジュニアジュニア、中学バントム級優勝)等が評価され、2001年の樋口清輝選手、2003年の潮崎史裕選手の受賞以来、久々の嬉しい受賞となった。

今年から熊日学童五輪の実施競技となることが決定している県テコンドー。ちびっこ選手にとっては、励みとなる嬉しい知らせと言える。



阪上弘一選手、津田ひかる選手、廣田翔栄選手

国際・全国スポーツ大会優勝報告会に4選手出席! 1月22日 ホテル日航熊本



なでしこジャパン佐々木則夫監督との記念写真

平成23年に開催された国際・全国スポーツ大会での優勝者報告と激励を兼ねた報告会が財團法人熊本県体育協会の主催で各競技団体、学校、地区体育協会から約300人が出席して盛大に行われた。

報告会に先立って開催された「日本女子サッカーなでしこJapan佐々木則夫監督の講演では、なでしこJapanがなぜ世界一になったかを詳しく分析、選手個人の自主性を引き出すこと、団結力の重要性、そして世界が一番評価したのはフェアプレイの素晴らしさであり礼儀正しさであった。これは日本人の誇りと熱く語った。

その後行われたパーティでは19競技団体111名の紹介が行われ、テコンドー競技は全日本、全日本学生で優勝した津田ひかる選手、全日本学生優勝の本田千尋選手、全日本ジュニア優勝の阪上弘一、廣田翔栄選手の4名がそれぞれ紹介された。

また廣田選手の試合は、会場に設置された大ビジョンで大きく映し出されテコンドー競技のPRに繋がった。

新年会・全国大会報告会開催! 樋口清輝選手は現役引退+入籍報告? 2月11日 アークホテル熊本

県協会は、昨年の全国主要大会(全日本・全日本ジュニア・全日本学生)の3位以内入賞者の報告会を兼ねた「新春・新年会」を開催した。

協会役員、支部長、入賞選手、来賓など51名が出席し、各選手のコメントやDVDでの試写も行われた。また、県テコンドーのホープとして15年に亘り活躍した樋口清輝選手が現役引退を正式に表明。15年間の選手生活にビリオドをうつた。

樋口選手は「ロンドン五輪に出場出来ず、申し訳ありません。これまで応援、ご支援して頂いた多くの皆様に感謝とお礼を申し上げます」と涙ながらに語った。また、先月に結納、そして入籍を済ませたことを報告、夫人となった久美子さん(旧姓・高橋)はフリーのアナウンサーでテコンドーは6級の腕前。ロンドンでのメダルは獲得できなかつたが、久美子さんと言う世界一のメダルは獲得したに違ない。末永くお幸せに。



入籍発表する樋口清輝、久美子(旧姓高橋)夫妻